

## 親子わんぱく自然教室（南砺市在住の児童）

## ●実施状況

砺波農林振興センターでは、6月23日に南砺市旧井波町の高瀬公園横を流れる「勸行寺川」で実施しました。当日は、隣接して「高瀬しょうぶ祭り」が開催される賑やかな雰囲気の中で、日頃から南砺市中心に活動している「わんぱく自然教室」の児童、保護者ら約60名が参加し、農業用排水路であるこの川の約300メートルの区間をグループに分かれて、タモ網を使って水生生物の捕獲調査を行いました。

三方コンクリートの水路の水位は深いところでも膝下程度で、一見したところ、生き物の姿は見当たりませんでした。子供たちは、何度も入念に川底まで繰り返し網を入れてしました。その結果、ドジョウやヨシノボリなど予想以上に多くの生物が生息していることが分かりました。

そして、暑さにもめげず、教室の先生からの生物毎の懇切丁寧な説明にも熱心に耳を傾けるとともに、講師から「身近な水辺環境に関心を持って下さい。」との講話を聴いて解散しました。

場 所：南砺市高瀬地内  
（勸行寺川）

実 施 日：平成25年6月23日（日曜日）

参 加 者：親子わんぱく自然教室  
（スタッフ4名、児童32名、保護者26名）  
砺波農林振興センター（5名）南砺市（2名）  
井波公民館（2名）井波町土地改良区（1名）  
講師（1名） 計 73名

活動内容：・捕獲調査  
・観測及び記録  
・捕獲生物の説明  
・農業用施設等の役割説明

捕獲生物：ドジョウ、ヨシノボリ、カワニナ、タニシ、ヤゴ  
アメリカザリガニ、アカハライモリ、トビケラ、  
サワガニ、ヒル、アメンボ、ホタルの幼虫  
他



## ●参加児童の感想

2年生 男子児童

生きものがいっぱいいておもしろかったです。また、やりたいです。魚やイモリや貝が見られてよかったです。ザリガニやサワガニもいて、びっくりしました。

2年生 女子児童

川にはいっぱい生きものやしょくぶつがいるんだなあと思いました。とぶいきものみつけるときは、上のほうをさがせばいいとかんがえました。また、きょうしつでいるんないきものを見たいです。

5年生 男子児童

水しつけんさでじのようなしくみで水の色が変化するの不思議でした。トノサマガエルをつかまえるのにあくせん苦とうした。すごいきんにくをしているからかなあと思った。